



国・県・市・栃木県建設業協会が県民を守る

“利根川水系連合・総合水防演習” 鬼怒川緑地にて開催

平成26年5月17日(土)、宇都宮市道場宿鬼怒川緑地において、国土交通省及び栃木県を含む関東1都6県・宇都宮市主催による第63回利根川水系連合・総合水防演習が開催されました。



総裁を務める太田昭宏国土交通大臣



副総裁を務める福田富一栃木県知事



副総裁を務める佐藤栄一宇都宮市長

水防演習には、太田昭宏国土交通大臣、福田富一栃木県知事、佐藤栄一宇都宮市長など各機関トップの方々の御出席をはじめ、国、県等の行政機関や地元消防団、関係団体、関係機関など約850名が参加し、本番さながらの訓練が行われました。

開会式では、**太田国土交通大臣**から「地球温暖化に伴う異常気象により、水害は局地化あるいは集中化しており、国土交通省としても防災体制の強化に全力で取り組む。本日の演習は、水害への対応を多くの皆さんに知っていただく極めて重要な機会であり、実りある訓練となるよう祈念する」との挨拶があり、**福田知事**からは「栃木県は関東平野の北部に位置していることから、川の流れが急で、台風等の大雨の際には洪水等による被害を受けてきた。自然の猛威がもたらす水害を最小限に食い止めるためには、消防団をはじめ自治体、地域住民が一体となって行う水防活動が重要であり、演習に参加される方々の日頃の訓練成果を十分発揮されたい。」との激励の言葉がありました。

